

テーマ 日本史の学会で注目されている事柄を調べてみよう

課題やレポート等で、日本史の注目されているテーマに取り組むにはどのような資料が有効なのでしょうか。日本史を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探すとき、こんなキーワードで探してみよう

日本史、争点、研究史 など

図書館にある資料の一例

参考図書 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！1F 和参考書資料の貸出はできませんので注意してください。

書名書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『日本古代史研究事典』（東京堂出版、1995、9）	8号館 3F 8和参考書	210.3/NK-K	10+0026291	日本の古代史に関する研究で注目されている事柄を、キーワードを説明する形で紹介している。
『日本中世史研究事典』（東京堂出版、1995、6）	8号館 3F 8和参考書	210.4/NT-K	10+0025865	日本の中世史に関する研究で注目されている事柄を、キーワードを説明する形で紹介している。
『日本近世史研究事典』（東京堂出版、1989、6）	8号館 3F 8和参考書	210.5/N13/1	50+0005989	日本の近世史に関する研究で注目されている事柄を、キーワードを説明する形で紹介している。
『日本近現代史研究事典』（東京堂出版、1999、8）	8号館 3F 8和参考書	210.033/NK-K	10+0076808	日本の近現代史に関する研究で注目されている事柄を、キーワードを説明する形で紹介している。
『日本近現代史研究事典』（東京堂出版、1999、8）	8号館 3F 8和参考書	210.033/NK-K	10+0076808	日本の近現代史に関する研究で注目されている事柄を、キーワードを説明する形で紹介している。
『戦後歴史学用語事典』（東京堂出版、2012、7）	8号館 3F 8和参考書	210.033/RK-S	10+0341019	日本の古代～近現代までの重要な歴史用語について、その本来の意味や研究史などを紹介している。
『日本史文献事典』（弘文堂、2003、12）	8号館 3F 8和参考書	210.031/KH-N	10+0155064	日本の古代～現代までの基本文献・重要文献について、その内容、意義などがまとめられている。
『日本文化史ハンドブック』（東京堂出版、2002、4）	8号館 4F 8号館和図書	210.036/NB-H	10+0133556	日本文化史上の主要な用語の解説、研究史のあらましとその問題点、テーマの発見、調べ方などがまとめられている。

入門書 ☆基礎を学んでみよう。

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『争点日本の歴史』2巻 古代編 1 白石太一郎・吉村武彦編（新人物往来社、1990、12）	B1A:和閉図書	210.1/S2/1-2	50+0045906	日本古代史の研究における注目されている事柄についてキーワードを説明する形で紹介している。

『争点日本の歴史』3巻 古代編 2 吉村武彦・吉岡真之編（新人物往来社、1991、1）	B1A:和閉図書	210.1/S2/1-3	50+0045907	
『争点日本の歴史』4巻 中世編(平安末期～戦国時代) 峰岸純夫編（新人物往来社、1991、2）	B1A:和閉図書	210.1/S2/1-4	50+0045908	日本中世史の研究における注目されている事柄についてキーワードを説明する形で紹介している。
『争点日本の歴史』5巻 近世編 江戸時代 青木美智男・保坂智編（新人物往来社、1991、4）	B1A:和閉図書	210.1/S2/1-5	50+0067075	日本近世史の研究における注目されている事柄についてキーワードを説明する形で紹介している。
『争点日本の歴史』6巻 近・現代編(幕末～第二次大戦後) 佐々木隆爾編 （新人物往来社、1991、5）	B1A:和閉図書	210.1/S2/1-6	50+0067076	日本近現代史の研究における注目されている事柄についてキーワードを説明する形で紹介している。
『新視点日本の歴史』2～7巻（古代編～現代編） （新人物往来社、1993、4）	B1A 和閉図書	210.1/SN-R/1	10+0313546 他	日本史の研究における注目されている事柄についてキーワードを説明する形で紹介している。
『明治維新史研究の今を問う—新たな歴史像を求めて—』 （明治維新史学会編、有志舎、2011、7）	8号館 4F 8号館和図書	210.6/MI-K	10+0313647	明治維新史研究におけるキーワードを説明する形で紹介している。
『古代史講義—邪馬台国から平安時代まで』 佐藤信編（ちくま新書、2018、1）	8号館 4F 8号館和図書	210.3/SM-K	10+0359711	古代史研究における最新の成果と動向をわかりやすく紹介している。
『中世史講義—院政期から戦国時代まで』 高橋典幸・五味文彦編（ちくま新書、2019、1）	2 F 和開図書	210.4/TN-T	10+0354313	中世史研究における最新の成果と動向をわかりやすく紹介している。
『明治史講義』【テーマ篇】 小林和幸編（ちくま新書、2018、3）	8号館 4F 8号館和図書	210.6/MK-O/1	10+0359719	明治史研究における論点を整理し、この時代を最新の観点から描いている。
『明治史講義』【人物篇】 筒井清忠編（ちくま新書、2018、4）	8号館 4F 8号館和図書	210.6/MK-O/2	10+0359720	明治史のキーパーソン22名について、最新の知見をもとに分析している。
『はじめての明治史 東大駒場連続講義』 山口輝臣編（ちくまプリマー新書、2018、11）	8号館 4F 8号館和図書	210.6/YT-H	10+0360591	「幕府はどうして倒れたのか？」などの、近代史における大きな問いに答える講義録。

専門的な図書 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『岩波講座 日本歴史』第1巻～第18巻 大津透 他編（岩波書店、2013～2015年）	2 F 和開図書	210.08/IK-N/1	10+0301222 他	日本史の各時代に関する論点・注目点を踏まえながら、総括的に示している。

データベース・関連 Web ページ

☆専門的な情報を探すときに便利です。データベースで探した本や論文が図書館にあるか、あらためて OPAC（蔵書検索）や CiNii で調べましょう
図書館の OPAC・データベースについては Student's Handbook2020 内の『図書館活用ガイド 2020』P131～P135 を参考にしてみよう！

●印のデータベース・Web ページは、図書館 HP にリンクがあります

データベース・Web ページ名	URL	ポイント
国立国会図書館オンラインサービス	http://www.ndl.go.jp/	関係図書・論文を検索する上で、役立つ
●CiNii Articles－日本の論文をさがす－	http://ci.nii.ac.jp/	
東京大学史料編纂所データベース	http://www.wap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/db.html	関係史料・図書を検索する上で、役立つ。
アジア歴史資料センター	http://www.jacar.go.jp/	
国立公文書館	http://www.archives.go.jp/	
データベースれきはく	http://www.rekihaku.ac.jp/education_research/gallery/database/index.html	

※上記 URL は 2020 年 9 月現在のものです。